

第3章 教員免許状

④外国語コミュニケーション

以下の科目から2単位以上修得することにより充当されます。

2021年度学部設置科目	2021年度グローバルエデュケーションセンター設置科目
英語Ⅰ：Business English Conversation A	イタリア語（入門）理解
英語Ⅰ：Business English Conversation B	イタリア語（入門）表現
留学のためのAcademic Listening	イタリア語（入門）理解・表現
英語Ⅱ選択：Speaking（中級）A	イタリア語（入門）＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択：Speaking（中級）B	イタリア語（入門）＜英語で学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択：Listening（中級）A	イタリア語（初級）理解
英語Ⅱ選択：Listening（中級）B	イタリア語（初級）表現
英語Ⅱ選択：Speaking（準上級）A	イタリア語（初級）理解・表現
英語Ⅱ選択：Speaking（準上級）B	イタリア語（初級）＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択：Listening（準上級）A	イタリア語（初級）＜英語で学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択：Listening（準上級）B	イタリア語（準中級）理解
英語Ⅱ選択：Speaking（上級）A	イタリア語（準中級）表現
英語Ⅱ選択：Speaking（上級）B	イタリア語（中級）理解
Business English	イタリア語（中級）表現
ドイツ語Ⅱ選択A表現（書く・話す）	朝鮮語（入門）
ドイツ語Ⅱ選択B表現（書く・話す）	朝鮮語（初級）
ドイツ語Ⅱ選択A表現（聞く・話す）	朝鮮語（準中級）
ドイツ語Ⅱ選択B表現（聞く・話す）	朝鮮語（中級）
ドイツ語コミュニケーションA	朝鮮語（上級）
ドイツ語コミュニケーションB	Tutorial English (Beginners) A & B Intensive
フランス語Ⅱ選択A表現全般（話す・聞く・書く）	Tutorial English (Basic) A & B Intensive
フランス語Ⅱ選択B表現全般（話す・聞く・書く）	Tutorial English (Basic) C & D Intensive
フランス語Ⅱ選択A口頭表現（会話）	Tutorial English (Intermediate) A & B Intensive
フランス語Ⅱ選択B口頭表現（会話）	Tutorial English (Intermediate) C & D Intensive
フランス語コミュニケーションA	Tutorial English (Upper Intermediate) A & B Intensive
フランス語コミュニケーションB	Tutorial English (Upper Intermediate) C & D Intensive
スペイン語Ⅱ選択A表現（書く・話す）	Tutorial English (Advanced) A & B Intensive
スペイン語Ⅱ選択B表現（書く・話す）	Tutorial English (Beginners) A
スペイン語Ⅱ選択A表現（聞く・話す）	Tutorial English (Beginners) B
スペイン語Ⅱ選択B表現（聞く・話す）	Tutorial English (Basic) A
スペイン語Ⅱ選択A表現（読む・話す）	Tutorial English (Basic) B
スペイン語Ⅱ選択B表現（読む・話す）	Tutorial English (Basic) C
スペイン語コミュニケーションA	Tutorial English (Basic) D
スペイン語コミュニケーションB	Tutorial English (Intermediate) A
中国語Ⅱ選択Aビジネス中国語会話	Tutorial English (Intermediate) B
中国語Ⅱ選択A準中級会話	Tutorial English (Intermediate) C
中国語Ⅱ選択A準中級作文	Tutorial English (Intermediate) D
中国語Ⅱ選択A準中級会話（中国事情）	Tutorial English (Upper Intermediate) A
中国語Ⅱ選択A準中級会話（台湾事情）	Tutorial English (Upper Intermediate) B
中国語Ⅱ選択Bビジネス中国語会話	Tutorial English (Upper Intermediate) C
中国語Ⅱ選択B中級会話	Tutorial English (Upper Intermediate) D
中国語Ⅱ選択B中級作文	Tutorial English (Advanced) A
中国語Ⅱ選択B中級会話（中国事情）	Tutorial English (Advanced) B

(つづく)

1.

教員免許状の取得（2018年度以前入学者）

教育職員免許法により、商学部で取得できる免許状の種類および教科は以下のとおりです。詳細については、教育学部で発行される『教職課程履修の手引き』を参照してください。

(1) 取得できる免許状の種類（2009年度以降から）

近年の教員採用試験では中学・高校両方の免許を取得していることが、受験資格の前提となっており、ケースが増えていますので、両方の校種の免許を取得することをお勧めいたします。

免許状の種類	教科	教科に関する科目の対象科目
中学校教諭一種免許状	社会	毎年度の「ROUTE 商学部の手引き」で確認してください。 （※同科目名でも、設置年度や入学年度によって充当可否が変わります）
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
	公民・政治・経済	

※商業課程をもつ意校の減少に伴い、教育実習の受入先が限られています。高校商業の免許取得を目指す場合、他教科での免許取得も検討し、商業以外の教科で教育実習に行くことができるように必ず準備してください。（教育実習の前提条件については(5)を参照してください）

(2) 教員免許状取得に必要な単位（2018年度以前入学者）

教員免許状を取得するためには、基礎資格を備えるとともに、下表で定める要件を全て満たさなければなりません。

免許状の種類	中学校教諭1種（社会）	高等学校教諭1種（地理・公民・商業）
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	2	2
⑥⑦の教職に関する科目	31(32※3)	25(26※3)
⑧教科に関する科目※1	20	20
⑨教科又は教職に関する科目※2	8(7※3)	14(13※3)
	59	59

※1 中学校社会、高校地理歴史・公民については、2009年度以降の修得単位数のみ、「教科に関する科目」に算入できます。

※2 「教科に関する科目」や「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「教科又は教職に関する科目」の単位として計算されます。上表に記載の単位数は、「教科に関する科目」「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」の合計最低修得単位数である59単位から、「教科に関する科目」および「教職に関する科目」の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、「教科又は教職に関する科目」の科目区分に設置されている科目を、記載されている単位数以上履修しなければならぬという意味ではありません。

※3 「特別活動論（中・高）・2単位」（～2018年度）を履修し単位修得した場合、こちらの単位数が必要です。（2019年度より、「特別活動論（中・高）」は1単位数に変更となりました）

①基礎資格

教育学部卒業し、「学士（商学）」の学位を取得することが必要です。

②日本国憲法

教育学部設置科目「憲法A」または「憲法B」（ともに総合教育科目）を修得することにより充当されます。

③体育（実技）

グローバルエデュケーションセンター設置科目「スポーツ実習Ⅰ」または「スポーツ実習Ⅱ」を2単位以上修得することにより充当されます。身体虚弱もしくは慢性的な疾病や身体に障害がある人は、科目登録時にグローバルエデュケーションセンターに事前に申し出て相談してください。

④外国語コミュニケーションのつづき

2021年度商学部設置科目	2021年度グローバルエデュケーションセンター設置科目
中国語Ⅱ選択B中級会話(台湾事情)	
中国語Ⅱ選択(上級)A準上級会話	
中国語Ⅱ選択(上級)B上級会話	

⑤情報機器の操作

以下の科目から2単位以上修得することにより充たされます。

2021年度商学部設置科目	2021年度グローバルエデュケーションセンター設置科目
基礎コンピュータ	プログラミング入門
コンピュータによるビジネス統計入門	プログラミング初級 (C/C++)
ビジネス・プログラミング入門	プログラミング初級 (Java)
	プログラミング中級 (Java)
	プログラミング中級 (C/C++)
	アルゴリズムとデータ構造 α
	アルゴリズムとデータ構造 β
	ソフトウェア開発技術 α
	ソフトウェア開発技術 β
	情報セキュリティ技術
	Webデザイン実践
	サーバサイドWebプログラミング初級
	クライアントサイドWebプログラミング初級
	サーバサイドWebプログラミング中級
	クライアントサイドWebプログラミング中級
	データベース (SQL入門)
	データベース (管理と運用)
	マルチメディア初級 (画像処理とアニメーション) α
	マルチメディア初級 (画像処理とアニメーション) β
	マルチメディア中級 (画像処理とアニメーション) α
	マルチメディア中級 (画像処理とアニメーション) β
	ミュージック・プログラミング
	CGエンジニア入門

⑥教職に関する科目(必修)《2010年度以降入学者》

教育職員免許法施行規則に定められている科目	必要単位	設置科目	配当年次	単位数	履修方法
教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の特性等	2	教職概論(中・高)	1	2	必修
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育基礎総論1(中・高)	1	2	必修
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育基礎総論2(中・高) (旧:教育基礎総論2)	1	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	12 (12※1)	教育課程編成論(中・高)	Ⅱ	1	必修
教育課程の意義及び編成の方法		教科教育法1 教科教育法2 (※教科色に必修【社会・地理歴史・公民・商業】)	Ⅱ	各2	
各教科の指導法	中学 12 (12※1)	教科教育法3 (※中学社会【社会教育法3は、必修】)	Ⅱ	2	中学のみ必修
教育課程及び指導法に関する科目	高校 8 (9※1)	道徳教育論(中・高)	1	2	必修
特別活動の指導法		特別活動論(中・高)	Ⅱ	2	必修
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法・技術論(中・高) (旧:教育方法研究(中・高))	Ⅱ	2	必修
生徒指導の理論及び方法	4	生徒指導・進路指導論(中・高)	1	2	必修
相談指導の理論及び方法		生徒理解と教育相談(中・高)	1	2	
教育実習	中学 5 (5※1)	教育実習演習(中・高)	Ⅳ	5	中学必修
教職実践演習	高校 3	教育実習演習(中・高)	Ⅳ	3	高校必修
最低修得単位数	2	教職実践演習(中・高)	Ⅳ	2	必修
		中学31(32※1)・高校25(26※1)			

※1 「特別活動論(中・高)・2単位」(～2018年度)を履修し単位修得した場合、こちらの単位数が必要で要です。
 (2019年度より、「特別活動論(中・高)」は1単位に変更となりました)

⑦教職に関する科目(選択)

教育職員免許法施行規則に定める科目	設置科目	単位数(履修方法)
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教職研究Ⅲ(日本教育史) 教職研究Ⅳ(西洋教育史)	各2単位(選択)
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教職研究Ⅰ(学校教育法規) 教職研究Ⅱ(教育行政法規) 教職研究Ⅴ(学校外教育) 教職研究Ⅸ(教育経営)	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	特別支援教育(中・高)	1単位(選択)
各教科の指導法	教科教育法4※2	各2単位(選択)
特別活動の指導法	総合的な学習・探究論(中・高)	1単位(選択)
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	授業技術演習(旧学習指導基礎講座)	各2単位(選択)

※1 修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。
 ※2 同一免許教科に限り算入されます。

⑧教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目	設置科目	(履修方法) 単位数
教科又は教職に関する科目	介護体験実習講義 人間理解基礎講座 (心の健康教育に関する理論と実践) 教職研究Ⅵ (生涯教育) 教職研究Ⅶ (総合学習の研究) 初等教育 インターンシップ 特別支援教育 インターンシップ (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) インクルーシブ教育 インターンシップ	2 (中学必修) 2 2 2 4 4 4 4

※「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を越えて単位を修得した場合は、「教科又は教職に関する科目」の単位として計算されます。

教科に関する科目、教職に関する科目 (必修)、教職に関する科目 (選択)、教科又は教職に関する科目の合計で59単位以上

⑨教科に関する科目

取得を希望する教科により、それぞれ履修科目が異なります。教科毎の対応表を参照してください。

表1：中学校教諭一種免許状 (社会) (2009年度以降の修得単位数の有効)

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目		履修方法
	必修	選択	
日本史及び外国史	日本史Ⅰ	2	4科目すべて必修
	日本史Ⅱ	2	
	西洋史	2	
	東洋史	2	
	文化人類学 A		選択
	文化人類学 B	2	
	現代史 A (日本)	2	
	現代史 B (日本)	2	
	経営史	4	
	経済史	4	
	日本経済史	4	
	イスラーム社会の歴史と文化	2	
	自然科学史 A	2	
	自然科学史 B	2	
	社会経済思想史	4	
	経済学史	4	
	西洋経済史	4	

(つづく)

表1：中学校教諭一種免許状 (社会) のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目		履修方法
	必修	選択	
地理学 (地誌を含む)	地理Ⅰ【教育学部設置】◎	2	3科目すべて必修
	地理Ⅱ【教育学部設置】◎	2	
	地誌Ⅰ【教育学部設置】◎	2	
	地理Ⅲ【教育学部設置】◎	2	選択
	地誌Ⅱ【教育学部設置】◎	2	
	地理学 A	2	
	地理学 B	2	
	都市論 A	2	
	都市論 B	2	
	法の基本的枠組み A ※	2	
	法の基本的枠組み B ※	2	
	政治システム論 A ※	2	
	政治システム論 B ※	2	
	政治行動論 A ※	2	
	政治行動論 B ※	2	
	ビジネス法入門 ※	2	
	法と人権 A	2	選択
法と人権 B	2		
国際社会と法 A	2		
国際社会と法 B	2		
国際関係論 A	2		
国際関係論 B	2		
民法Ⅰ	2		
民法Ⅱ	2		
民法Ⅲ	2		
企業法Ⅰ	2		
企業法Ⅱ	2		
企業法Ⅲ	2		
金融商品取引法	2		
労働法Ⅰ	2		
労働法Ⅱ	2		
税法 A	2		
税法 B	2		
独占禁止法	2		
国際法Ⅰ	2		
国際法Ⅱ	2		
基礎経済学 ※	4	《※印科目》 いずれか1科目 選択必修	
社会経済学 ※	4		
ミクロ経済学	4	社会学、経済学	
マクロ経済学	4		
ゲーム理論と戦略	4		
日本経済論	4		
経済統計Ⅰ	2		
経済統計Ⅱ	2		
回帰分析初級 A	4		
回帰分析初級 B	4		

(つづく)

表1：中学校教諭一種免許状（社会）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法	
		必修	選択		
社会学、経済学	回帰分析中級		4	選択	
	産業組織論		4		
	財政学		4		
	労働経済論		4		
	社会科学入門		4		
	基礎統計学		4		
	数理統計学		2		
	機械学習と数理		2		
	現代社会科学論		4		
	東アジア共同体形成論		4		
	社会学の視点A		2		
	社会学の視点B		2		
	現代の社会構造		2		
	哲学の歴史A } ※		2		※印科目へ いづれか 1科目群 選択必修
	哲学の歴史B } ※		2		
	比較宗教A } ※		2		
	比較宗教B } ※		2		
民族と宗教A } ※		2			
民族と宗教B } ※		2			
現代の哲学A		2			
現代の哲学B		2	選択		
現代倫理学の諸問題A		2			
現代倫理学の諸問題B		2			
社会と倫理A		2			
社会と倫理B		2			
倫理思想の歴史A(古代・中世)		2			
倫理思想の歴史B(近世・現代)		2			
環境と生命の倫理学A		2			
環境と生命の倫理学B		2			

◎教職用教科に関する科目（地理Ⅰ・地理Ⅱ・地理Ⅲ・地誌Ⅰ・地誌Ⅱ）は、教職に関する科目（P.49）と異なり、一般の他学部提供科目と同じに扱います。そのため、商学部の年間登録単位数に含み、他機関設置科目として扱います。

教科に関する科目、教職に関する科目（必修）、教職に関する科目（選択）、教科又は教職に関する科目の合計で59単位以上

表2：高等学校教諭一種免許状（地理歴史）（2009年度以降の修得単位数のみ有効）

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
日本史	日本史Ⅰ	2	2科目すべて必修	
	日本史Ⅱ	2		
	文化人類学A	2		
	文化人類学B	2		
	現代史A（日本）	2		
	現代史B（日本）	2		
	経営史	4		
	経済史	4		
	日本経済史	4		
	西洋史	2		
外国史	東洋史	2	2科目すべて必修	
	イスラーム社会の歴史と文化	2		
	自然科学史A	2		
	自然科学史B	2		
	社会経済思想史	4		
	経済学史	4		
	西洋経済史	4		
	地理Ⅰ【教育学部設置】◎	2		3科目すべて必修
	地理Ⅱ【教育学部設置】◎	2		
	地理Ⅲ【教育学部設置】◎	2		
人文地理学及び 自然地理学	地理学A		2	選択
	地理学B		2	
	都市論A		2	
	都市論B		2	
	地誌Ⅰ【教育学部設置】◎	2	2科目すべて必修	
地誌Ⅱ【教育学部設置】◎	2			

◎教職用教科に関する科目（地理Ⅰ・地理Ⅱ・地理Ⅲ・地誌Ⅰ・地誌Ⅱ）は、教職に関する科目（P.49）と異なり、一般の他学部提供科目と同じに扱います。そのため、商学部の年間登録単位数に含み、他機関設置科目として扱います。

教科に関する科目、教職に関する科目（必修）、教職に関する科目（選択）、教科又は教職に関する科目の合計で59単位以上

表4：高等学校教諭一種免許状（商業）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
商業の関係科目	ベンチャー企業の成長と証券市場との関わり 財政・金融の今と未来 ビジネスモデル・デザイン 実践・起業インターン (REAL) II		2 2 2 2	2科目すべて必修
	職業指導 職業指導A 職業指導B		2 2	

教科に関する科目、教職に関する科目（必修）、教職に関する科目（選択）、教科又は教職に関する科目の合計で59単位以上

(3) 履修制限単位数

前記の《教職に関する科目（必修・選択）》は、1年間に履修できる単位数が20単位に制限されています。詳細は、『教職課程履修の手引き』にしてください。また、『教職課程科目』は自由科目※として扱いますので、商学部で定めている年間履修制限単位数には含まれず、修得した単位は卒業所定単位には算入されません。

- ※「自由科目」とは、単位を取得しても卒業要件とはならない科目。
 →他箇所・他機関設置科目で卒業に必要な単位として扱わない科目。
 →「教員免許状」取得のための教職に関する科目。
 →「資格」取得に関する科目。(博物館学芸員・図書館司書等)

(4) 聴講料・実験実習料

教職課程科目を履修する場合は以下の通り聴講料・実験実習料の納入が必要ですが、なお、聴講料・実験実習料を前日までに支払わない場合は、登録した科目を取り消します。

対象科目	聴講料・実験実習料	聴講料・実験実習料納入
教職に関する科目（必修） 教職に関する科目（選択）	2021年度「教職課程履修の手引き」を参照のこと。	「教職に関する科目（必修・選択）」に登録する度毎に、登録単位数に応じた聴講料・実験実習料の納入が必要です。 ※次年度以降、再履修の場合も同様に納入が必要です。

(5) 教育実習

- ＜前提条件＞
 以下①～②の条件を満たしていること。
 ①前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。
 ・「教科に関する科目」のうち16単位以上
 ・「教職理論1」「教育課程編成論」「教育基礎総論1」「教育制度総論（旧：教育基礎総論2）」「教育心理学」「教科教育法1」「教科教育法2」「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」「教科教育法」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち2領域（各2単位）
- ②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込で、かつ、卒業見込みに足りうる卒業単位を修得

表4：高等学校教諭一種免許状（商業）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
商業の関係科目	流通論		4	選択
	広告論		4	
	国際貿易論		4	
	金融論		4	
	証券論		4	
	保険論		4	
	マーケティング戦略論		4	
	マーケティング・コミュニケーション論		2	
	環境マーケティング		2	
	製品戦略論		2	
	消費者行動論		4	
	マーケティング・サイエンス		2	
	マーケティング特論（ブランド戦略）		2	
	国際競争論		4	
	貿易実務論		2	
	貿易慣習論		2	
	ビジネス・コミュニケーション論		2	
	国際マーケティングマネジメント論		4	
	国際貿易理論		4	
	ダイバーシティマネジメント		2	
	国際ビジネス特論（グローバル戦略論）		2	
	国際ビジネス特論（企業の国際戦略）		2	
	国際金融論		4	
	金融インハイノベーション		4	
	数理ファイナンス		4	
	損害保険論		4	
	企業金融論		2	
	資産価格論		4	
	海上保険論		4	
	生命保険論		4	
	リスクマネジメント論		2	
	中国ビジネス論		2	
交通論		4		
経済地理		4		
イノベーションとアントレプレナーシップ		4		
ビジネス入門		4		
株式会社日本M&Aセンター		2		
寄附講座 起業家養成講座 I		2		
寄附講座 ビジネス・プロフェッション		2		
総合会社 ビジネス論		2		
ビジネスアイデア・デザイン (BD)		2		
実践・起業インターン (REAL) I		2		
ワーカーズユニオン		2		
新時代の保険事業		2		
変化に対応する日本企業		2		
株式会社ガイダンス		2		
寄附講座 価値創造のマーケティング		2		
いなば食品株式会社		2		
寄附講座 差別化戦略による組織の持続性の確保		2		
未来を創るPRの力		2		
株式会社日本水コン		2		
寄附講座 「水」ビジネス論		2		

(つづく)

済であること。

<登録について>

中学校の免許状を取得する場合、「教育実習演習（中学）」を登録してください。
高等学校のみの免許状を取得する場合、「教育実習演習（高校）」を登録してください。
中学校・高等学校の両免許状を取得する場合、「教育実習演習（中学）」のみを登録してください。なお、教育実習の概要や手続きの詳細は、実習前年度に行う「教育実習ガイダンス」で案内があります。

<商業について>

近年、商業科での実習先が確保できなくなり、結果として教育実習演習が履修できないケースがあります。必ず他教科でも実習ができるよう、注意してください。

(6) 教科又は教職に関する科目

<社会科学教育法の高等学校一種免許状での取扱い>

2019年度以降に「社会科学教育法」を履修し単位を取得した場合、高等学校一種免許状の「地理歴史」および「公民」の単位として算入することはできません。

<道徳教育論・介護体験実習講義の高等学校一種免許状での取扱い>

高等学校一種免許状を修得する場合に「道徳教育論」「介護体験実習講義」を履修した場合は、「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

(7) 中学校の教員免許状取得に必要な「介護等体験」について

<前提条件>

体験実施前年度までに、「教職概論」を修得済みでないとは参加できません。
（「教育心理学」も修得済みであることが望ましい）

<登録について>

本学では介護等体験の実施を3年次以上と定めていますので、2021年度入学者の介護等体験は2023年度以降となります。この体験の申込手続については、**実施前年度の2022年度秋学期に教職課程の掲示板で発表します**ので、見落とさないように注意してください。詳細については、『教職課程履修の手引き』を参照してください。また体験費として所定金額の納入が必要です。

なお、高等学校教諭の免許状のみ取得を希望する場合は、介護等体験を行なう必要はありません。

<単位について>

「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

2.

教員免許状の取得 (2019年度以降入学者)

1. 教育職員免許状の取得

教育職員免許法により、商学部で取得できる免許状の種類および教科は以下のとおりです。詳細については、教育部が発行される『教職課程履修の手引き』を参照してください。

(1) 取得できる免許状の種類 (2009年度以降から)

近年の教員採用試験では、中学・高校両方の免許を取得していることが受験資格の前提となっているケースが増えていますので、両方の校種の免許を取得することを推奨します。

免許状の種類	教科	教科に関する科目の対象科目
中学校教諭一種免許状	社会	毎年度の「ROUTE 商学部の手引き」で確認してください。
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	(同科目名でも、設置年度や入学年度によって充当可否が変わります)
	公民	
	商業 ^(※)	

※商業課程をもつ高校の減少に伴い、教育実習の受入先が限られています。高校商業の免許取得を目指す場合、他教科での免許取得も検討し、商業以外の教科で教育実習に行くことができるように必ず準備してください(教育実習の前戻条件については(5)を参照してください)。

(2) 教員免許状取得に必要な単位 (2019年度以降入学者)

教員免許状を取得するためには、基礎資格を備えるとともに、下表で定める要件を全て満たさなければなりません。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	免許状の種類		小計	小計	小計
	中学校教諭1種(社会)	高等学校教諭1種(地理・公民・商業)			
教科及び教職に関する科目	日本国憲法	2	4	24	59
	体育(法成)	2	4		
	外国語コミュニケーション	2	4		
	情報機器の操作	2	4		
	教科及び教科の指導法に関する科目	8	10	10	
	教育の基礎的理解に関する科目 ^{※4}	10	8	8	
教育の基礎的理解に関する科目 ^{※4}	10	5	5		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ^{※4}	10	12	12		
教育実践に関する科目 ^{※4}	10	67	67		
教育実践に関する科目 ^{※4}	10				
大学が独自に設定する科目 ^{※5}	4				
大学が独自に設定する科目 ^{※5}	4				
最低修得単位数の合計 ^{※6}	67	67	67		

- ※1 中・高地理歴史・公民については、2009年度以降の修得単位数のみ「教科に関する専門的事項」に算入できません。
- ※2 「教科に関する専門的事項」については、法令上の最低修得単位数は定められていません。ただし、「教科及び教科の指導法に関する科目」としては、「教科に関する専門的事項」と「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」との合計で「小計」に記載の単位数を修得する必要があります。
- ※3 「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」については、中学校免許取得者は8単位以上、高等学校免許取得者は4単位以上修得することが求められています。
- ※4 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」や「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「大学が独自に設定する科目」の単位として計算されます。上表に記載の単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等、および「大学が独自に設定する科目」の合計最低修得単位数である59単位から、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、「大学が独自に設定する科目」の科目区分に設置されている科目を、記載されている単位数以上履修しなければならないという意味ではありません。
- ※6 卒業必要単位数に算入しない(自由科目)場合でも、この単位数には含まれます。

- ① **基礎資格**
商学部を卒業し、「学士(商学)」の学位を取得することが必要です。
- ② **日本国憲法**
商学部設置科目「憲法A」または「憲法B」(ともに総合教育科目)を修得することにより充当されます。
- ③ **体育(実技)**
グローバルエデュケーションセンター設置科目「スポーツ実習Ⅰ」または「スポーツ実習Ⅱ」を2単位以上修得することにより充当されます。
- ④ **外国語コミュニケーション**
グローバルエデュケーションセンターに障害がある人は、科目登録時にグローバルエデュケーションセンターに事前に申し出て相談してください。

2021年度専学部設置科目	2021年度グローバルエデュケーションセンター設置科目
英語Ⅰ: Business English Conversation A	イタリア語(入門)理解
英語Ⅰ: Business English Conversation B	イタリア語(入門)表現
留学のためのAcademic Listening	イタリア語(入門)理解・表現
英語Ⅱ選択: Speaking(中級)A	イタリア語(入門)＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択: Speaking(中級)B	イタリア語(入門)＜英語で学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択: Listening(中級)A	イタリア語(初級)理解
英語Ⅱ選択: Listening(中級)B	イタリア語(初級)表現
英語Ⅱ選択: Speaking(準上級)A	イタリア語(初級)理解・表現
英語Ⅱ選択: Speaking(準上級)B	イタリア語(初級)＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択: Listening(準上級)A	イタリア語(初級)＜英語で学ぶイタリア語＞
英語Ⅱ選択: Listening(準上級)B	イタリア語(準中級)理解
英語Ⅱ選択: Speaking(上級)A	イタリア語(準中級)表現
英語Ⅱ選択: Speaking(上級)B	イタリア語(中級)理解
Business English	イタリア語(中級)表現
ドイツ語Ⅱ選択A表現(書く・話す)	朝鮮語(入門)
ドイツ語Ⅱ選択B表現(書く・話す)	朝鮮語(初級)
ドイツ語Ⅱ選択A表現(聞く・話す)	朝鮮語(準中級)
ドイツ語Ⅱ選択B表現(聞く・話す)	朝鮮語(中級)
ドイツ語コミュニケーションA	朝鮮語(上級)
ドイツ語コミュニケーションB	Tutorial English (Beginners) A & B Intensive
フランス語Ⅱ選択A表現全般(話す・聞く・書く)	Tutorial English (Basic) A & B Intensive
フランス語Ⅱ選択B表現全般(話す・聞く・書く)	Tutorial English (Basic) C & D Intensive
フランス語Ⅱ選択A口頭表現(会話)	Tutorial English (Intermediate) A & B Intensive
フランス語Ⅱ選択B口頭表現(会話)	Tutorial English (Intermediate) C & D Intensive
フランス語コミュニケーションA	Tutorial English (Upper Intermediate) A & B Intensive
フランス語コミュニケーションB	Tutorial English (Upper Intermediate) C & D Intensive
スペイン語Ⅱ選択A表現(書く・話す)	Tutorial English (Advanced) A & B Intensive
スペイン語Ⅱ選択B表現(書く・話す)	Tutorial English (Beginners) A
スペイン語Ⅱ選択A表現(聞く・話す)	Tutorial English (Beginners) B
スペイン語Ⅱ選択B表現(聞く・話す)	Tutorial English (Basic) A
スペイン語Ⅱ選択A表現(読む・話す)	Tutorial English (Basic) B
スペイン語Ⅱ選択B表現(読む・話す)	Tutorial English (Basic) C
スペイン語コミュニケーションA	Tutorial English (Basic) D
スペイン語コミュニケーションB	Tutorial English (Intermediate) A
中国語Ⅱ選択Aビジネス中国語会話	Tutorial English (Intermediate) B
中国語Ⅱ選択A準中級会話	Tutorial English (Intermediate) C
中国語Ⅱ選択A準中級作文	Tutorial English (Intermediate) D

(つづく)

表2：高等学校教諭一種免許状（地理歴史）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
人文地理学・ 自然地理学	地理Ⅰ【教育学部設置】	2		3科目すべて必修
	地理Ⅱ【教育学部設置】	2		
	地理Ⅲ【教育学部設置】	2		
	地理学A		2	選択
	地理学B		2	
地誌	都市論A		2	2科目すべて必修
	都市論B		2	
	地誌Ⅰ【教育学部設置】	2		
	地誌Ⅱ【教育学部設置】	2		

3：高等学校教諭一種免許状（公民）（2009年度以降の修得単位数のみ有効）

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
「法学 (国際法を含む。) 政治学 (国際政治を含む。)」	法の基本的枠組みA※	2		《※印科目》 いずれか1科目 選択必修
	法の基本的枠組みB※	2		
	政治システム論A※	2		選択
	政治システム論B※	2		
	政治行動論A※	2		
	政治行動論B※	2		
	ビジネス法入門※	2		
	法と人権A	2		
	法と人権B	2		
	国際社会と法A	2		
	国際社会と法B	2		
	国際関係論A	2		
	国際関係論B	2		
	民法Ⅰ	2		
	民法Ⅱ	2		
	民法Ⅲ	2		
	企業法Ⅰ	2		
	企業法Ⅱ	2		
	企業法Ⅲ	2		
	金融商品取引法	2		
	労働法Ⅰ	2		
	労働法Ⅱ	2		
税法A	2			
税法B	2			
国際法Ⅰ	2			
国際法Ⅱ	2			
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	基礎経済学※	4		《※印科目》 いずれか1科目 選択必修
	経済政策※	4		
	社会経済学※	4		
	ミクロ経済学	4		
	マクロ経済学	4		選択
	ゲーム理論と戦略	4		
	日本経済論	4		
	経済統計Ⅰ	2		
	経済統計Ⅱ	2		
		2		

(つづく)

表1：中学校教諭一種免許状（社会）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法	
		必修	選択		
「社会学、経済学」	現代社会科学論	4		選択	
	東アジア共同体形成論	4			
	社会学の視点A	2			
	社会学の視点B	2			
	現代の社会構造	2			
	哲学の歴史A }※	2			《※印科目》 いずれか1科目群 選択必修
	哲学の歴史B }※	2			
	比較宗教A }※	2			
	比較宗教B }※	2			
	民族と宗教A }※	2			2
民族と宗教B }※	2				
「哲学、倫理学、宗教学」	現代の哲学A	2		選択	
	現代の哲学B	2			
	現代倫理学の諸問題A	2			
	現代倫理学の諸問題B	2			
	社会と倫理A	2			
	社会と倫理B	2			
	倫理思想の歴史A (古代・中世)	2			
	倫理思想の歴史B (近世・現代)	2			
	環境と生命の倫理学A	2			
	環境と生命の倫理学B	2			

表2：高等学校教諭一種免許状（地理歴史）（2009年度以降の修得単位数のみ有効）

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
日本史	日本史Ⅰ	2		2科目すべて必修
	日本史Ⅱ	2		
	文化人類学A	2		選択
	文化人類学B	2		
	現代史A (日本)	2		
	現代史B (日本)	2		
	経国史	4		
	経済史	4		
	日本経済史	4		
	西洋史	2		
東洋史	2			
外国史	イスラーム社会の歴史と文化	2		2科目すべて必修
	自然科学史A	2		
	自然科学史B	2		
	経済学史	4		
	西洋経済史	4		

(つづく)

表3：高等学校教諭一種免許状（公民）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法	
		必修	選択		
「社会学、経済学 （国際経済を含む）」	帰属分析初級A		4	選択	
	帰属分析初級B		4		
	帰属分析中級		4		
	産業組織論		4		
	財政学		4		
	労働経済論		4		
	基礎統計学		2		
	機械学習と数理		4		
	現代社会科学論		4		
	東アジア共同体形成論		2		
	社会学の視点A		2		
	社会学の視点B		2		
	現代の社会構造		2		
	哲学の歴史A } ※		2		※印科目は いずれか 1科目群 選択必修
	哲学の歴史B } ※		2		
比較宗教A } ※		2			
比較宗教B } ※		2			
民族と宗教A } ※		2			
民族と宗教B } ※		2			
現代の哲学A		2			
現代の哲学B		2			
現代倫理学の諸問題A		2			
現代倫理学の諸問題B		2			
社会と倫理A		2			
社会と倫理B		2			
倫理思想の歴史A（古代・中世）		2			
倫理思想の歴史B（近世・現在）		2			
環境と生命の倫理学A		2			
環境と生命の倫理学B		2			
心理学A		2			
心理学B		2			
青年の心理学		4			
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」				選択	

(つづく)

表4：高等学校教諭一種免許状（商業）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
商業の関係科目	イノベーション論		2	選択
	組織の原理		2	
	財務会計論		4	
	管理会計論		4	
	簿記Ⅰ		4	
	簿記Ⅱ		4	
	原価計算論		4	
	会計監査論		4	
	財務諸表分析論		4	
	企業価値評価論		4	
	会計情報システム論		2	
	業績管理会計論		2	
	業務会計論Ⅰ		2	
	業務会計論Ⅱ		2	
	国際財務報告会計		2	
	マケティング論		4	
	国際貿易論		4	
	金融入門		4	
	保険論		4	
	流通論		4	
	広告論		4	
	消費者行動論		2	
	マーケティング戦略論		2	
	環境マーケティング		2	
	製品戦略論		2	
	マーケティング・サイエンス		2	
	マーケティング特論（ブランド戦略）		2	
	国際営業論		2	
	貿易契約論		2	
	貿易慣習論		2	
	ビジネス・コミュニケーション論		2	
	国際貿易論		2	
	ダイナミックマネジメント		2	
	国際ビジネス特論（グローバル戦略論）		2	
	国際ビジネス特論（企業の国際戦略）		2	
	金融論		4	
	証券論		4	
	リスクマネジメント論		2	
	国際金融論		4	
	金融イノベーション		2	
	数理ファイナンス		4	
	損害保険論		4	
	企業金融論		2	
	資産評価論		2	
	海上保険論		4	
中国ビジネス論		2		
経済地理		4		
イノベーションとアントレプレナーシップ		4		

(つづく)

表4：高等学校教諭一種免許状（商業）（2009年度以降の修得単位数のみ有効）

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
商業の関係科目	経営学		4	選択
	経営組織論		4	
	ビジネス・リサーチ		4	
	組織行動論		4	
	経営戦略		4	
	企業と社会		4	
	人的資源管理		2	
	経営情報システム		2	
	競争戦略		2	
	情報ネットワーク論		4	

(つづく)

表4：高等学校教諭一種免許状（商業）のつづき

免許法施行規則 文科省科目分類	商学部設置科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
商業の関係科目	ビジネス入門		2	選択
	総合商社ビジネス論		2	
	ビジネスアイデア・デザイン (BD)		2	
	起業の技術 (12 Essentials)		2	
	実習・起業インターン (REAL) I		2	
	株式会社日本M&Aセンター		2	
	最新講座 起業家養成講座 I		2	
	ソートシステム産業論		2	
	新時代の保険事業		2	
	変化に対応する日本企業		2	
	起業家養成講座 II		2	
	株式会社カインズ		2	
	最新講座 価値創造のマーケティング		2	
	いなば食品株式会社		2	
	最新講座 差別化戦略による組織の持続性の確保		2	
未来を創るPRの力		2		
株式会社日水コン		2		
最新講座 「水」ビジネス論		2		
ベンチャー企業の成長と証券市場との関わり		2		
財政・金融の今と未来		2		
学校法人大原学園		2		
最新講座 ビジネス・プロフェッション		2		
ビジネスモデル・デザイン		2		
実践・起業インターン (REAL) II		2		
職業指導		$\frac{2}{2}$		2科目すべて必修
	職業指導A			
	職業指導B			

⑩各教科の指導法

教育職員免許法に定める科目	設置科目	配当年次	単位数	履修方法
各教科の指導法 (情報機器及び教材 の活用を含む。)	社会科学教育法1 社会科学教育法2 社会科学教育法3 社会科学教育法4 地理歴史科教育法1 地理歴史科教育法2 公民科教育法1 公民科教育法2 商業科教育法1 商業科教育法2	ⅡまたはⅢ	各2	取得を希望する各教科の指導法を履修。中学校免許取得者は1～4、高校免許取得者は1～2必修。

(3) 履修制限単位数

「教育の基礎的理解に関する科目」等および各教科の指導法は、1年間に履修できる単位数が20単位に制限されています。詳細は、『教職課程履修の手引き』にしたがってください。また、『教職課程科目』は自由科目※として扱いますので、商学部で定めている年間履修制限単位数には含まれず、修得した単位は卒業所定単位数に算入されません。

- ※「自由科目」とは、単位を取得しても卒業算入とはならない科目。
⇒他箇所・他機関設置科目で卒業に必要な単位として扱わない科目。
⇒「教員免許状」取得のための教職に関する科目。
⇒「賞格」取得に関する科目。(博物館学芸員・図書館司書等)

(4) 聴講料・実験実習料

教職課程科目を履修する場合は以下の通り聴講料の納入が必要で、なお、聴講料を期日までに支払わない場合は、登録した科目を取消します。

対象科目	聴講料	聴講料納入
「教育の基礎的理解に関する科目」等 (必修・選択) 各教科の指導法	2021年度「教職課程履修の手引き」を参照のこと。	「教育の基礎的理解に関する科目」等(必修・選択)もしくは、各教科の指導法を登録する年度毎に、登録単位数に応じた聴講料・実験実習料の納入が必要で、※次年度以降、再履修の場合も同様に納入が必要です。

(5) 教育実習

<前提条件>

以下①～②の条件を満たしていること。
①前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること(教職課程認定上、同等の科目でも可)。

- ・「教科に関する専門的事項」のうち16単位以上
- ・「教職理論」「教育課程編成論」「教育基礎総論1」「教育制度総論」「教育心理学」「教科教育法1」「教科教育法2」「教育方法・技術論」「特別支援教育」「生徒理解と教育相談」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち2領域(各2単位)

②当該年度に教員免許取得に必要な科目を全て修得済みで、かつ、卒業見込みに足りうる単位を前年度までに修得済みであること。

<登録について>

中学校の免許状を取得する場合、「教育実習演習(中学)」を登録してください。
高等学校のみの免許状を取得する場合、「教育実習演習(高校)」を登録してください。
中学校・高等学校の両免許状を取得する場合、「教育実習演習(中学)」のみを登録してください。なお、教育実習の概要や手続の詳細は、実習前年度に行う「教育実習ガイダンス」で案内があります。

<履修について>

近年、商業科での実習先が確保できなくなり、結果として教育実習演習が履修できないケースがあります。必ず他教科でも実習ができるよう、注意してください。

(6) 各教科の指導法

<社会科学教育法の高等学校一種免許状での取扱い>

「社会科学教育法3」および「社会科学教育法4」は、高等学校一種免許状の「地理歴史」および「公民」の単位として算入することはできません。

(7) 大学が独自に設定する科目

<道徳教育論・介護体験実習講義の高等学校一種免許状での取扱い>

高等学校一種免許状を取得する場合に「道徳教育論」「介護体験実習講義」を履修した場合は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入されます。

(8) 中学校の教員免許状取得に必要な「介護等体験」

<前提条件>

体験実施前年度までに、「教職概論」「特別支援教育」を修得済みでないとは参加できません。

(「教育心理学」も修得済みであることが望ましい)

<登録について>

本学では介護等体験の実施を3年次以上と定めていますので、2021年度入学者の介護等体験は2023年度以降となります。この体験の申込手続については、**実施前年度の2022年度秋学期に教職課程の掲示版で発表します**ので、見落とさないように注意してください。詳細については、『教職課程履修の手引き』を参照してください。また体験費として所定金額の納入が必要です。

なお、高等学校教諭の免許状のみ取得を希望する場合は、介護等体験を行なう必要はありません。

<単位について>

「大学が独自に設定する科目」として取り扱われます。